

### Ⅲ アメリカ合衆国・A P世界史単元 “An Industrializing Age（工業化の時代）”

（授業者：Mr. Daniel Buccieri [ダニエル・ブッチェリ先生]）

授業の実施校、教科、単元、年日時、学年・生徒数、記録者は、以下の通りである

○実施高等学校：Venice High School（ヴェニス高校）

米国カリフォルニア州 Los Angeles（ロサンゼルス）市

○教科：AP World History（A P世界史）

○単元：An Industrializing Age（工業化の時代）

○授業者：Mr. Daniel Buccieri（ダニエル・ブッチェリ先生）

○年日時：2018年2月13日（火）第3限 午前10:32～11:28（55分）

○学年・生徒数：第11学年（日本の高校2年に相当）37名（男子19名、女子18名）

○記録者：田尻信壹

#### 1. ヴェニス高校（Venice High School）の概要



ヴェニス高校（右）と同校のシンボルであるMyrna Loy像（左）

ヴェニス高校は、カリフォルニア州ロサンゼルス統合学区内の西エリア地区にある4年制の公立高校である。1911年にヴェニス連合科学技術高校（Venice Union Polytechnic

High School) として創設され、100年以上の歴史を有している。「数学」「科学プログラム」「世界言語とグローバルスタディーズ」でマグネット・スクールとなるなど、優良校として高く評価されている。2015-2016年度の在籍生徒数は2005名（第9学年535名、第10学年606名、第11学年445名、第12学年419名）であり、ヒスパニック系（ラティーノ）が全体の64%（1285名）を占めていた。ヒスパニック系以外の内訳は、ヨーロッパ系276名、アフリカ系257名、アジア系142名、ネイティブアメリカン9名、ハワイ・太平洋島嶼人6名、複数の人種アイデンティティ保有者30名である。1978年の映画「グリース」のライデン高校のロケ地として使用されたこともあり、キャンパスの美しい高校である。

## 2. 本授業の特徴と意義

はじめに、本授業の特徴について述べる。本時（単元）はAP世界史の授業であり、三つの学習過程から構成されていた。それぞれの学習過程を第1、第2、第3フェーズとする。

まず、第1フェーズ（0分00秒～11分30秒）は本単元のウォームアップ（導入）のための時間であり、前時までの学習内容の復習が行われた。そこでは、第5課（工業化とグローバルな社会：1750年頃～1900年頃）で既習した内容を政治的、経済的、社会的変革に分けて整理する作業が行われた。そして、本時の学習目標として、歴史理論（ホブズボームの二重革命）を用いて時代の特徴や推移を分析し大観することであることが説明された。

次に、第2フェーズ（11分30秒～30分31秒）では、日本の明治期における紡績工場で働く女工の労働風景（写真）の読み説きが行われた。この活動を通して、西ヨーロッパで勃興した工業化が非欧米世界にも拡散していったことを生徒に学ばせていた。

最後に、第3フェーズ（30分31秒～55分）では、本単元「工業化の時代」を理論的根拠であるホブズボーム（Hobsbawm, E. J.）の学説（二重革命）を用いて検討し時代の特徴を大観させ、本節のまとめとした。

次に、本授業の意義について述べる。ホブズボームは、20世紀の英国を代表する歴史家である。二重革命は、彼の著書 *The Age of Revolution: Europe 1789-1948*, George Weidenfeld and Nicolson Ltd., London は、岩波書店から、安川悦子・水田洋訳 [1968] 『市民革命と産業革命～二重革命の時代～』として出版されている。その中で、1789年から1848年までの約60年間の西ヨーロッパの歴史をまとめて「二重革命の時代」ととらえていた。かれは同書のなかで英国で始まった産業革命とフランス革命を「この二重革命の比較的政治性

のつよいフランスの革命と産業上の（英国の）革命は、その革命の主なにない手がかつ象徴であったこの二つの国の歴史にぞくするものとみなすよりも、もっとひろい火山帯の一对の噴火口であるとみなすことのほうが、無理のないところである。」（ホブズボーム、前掲書、4頁）と記述していた。ホブズボームの提案は、主に西ヨーロッパを分析対象にしていたとはいえ、18世紀後半から19世紀前半に至る世界の構造的変動を英国、フランスという一国史的視点からではなく、西ヨーロッパ全体の視点から分析・把握しようと試みたものであった。近代世界の特質を理解する上で、二重革命は産業革命とフランス革命を一国史を越えた観点でアプローチすることで、単元「工業化の時代」の内容をグローバルな視点から大観させることを目指すものであった。そして、授業においては、複雑に展開する世界史の歴史事象を整理・分析する際に、二重革命という歴史家の理論（仮説）を用いて論理的に理解させたり解釈させたりするという教授方略を採用していた。筆者は、このような教授法を「仮説演繹法的教授法」と呼ぶことにする。

### 3. 授業の記録



写真1 授業者のBuccieri先生。手に持っているカードは生徒を指名する際に使用するものである。

## 第1フェーズ（0分00秒～11分30秒）

00分21秒経過／55分

**(Buccieri先生、以下「B先生」と表記する)** はい。みなさん、授業を始めます。準備はよろしいですか？

**(生徒)** 今日は、ウィークリー・リーディング (Weekly Reading) がありますか。

**(B先生)** いいえ、ありません。

**(生徒)** ウィークリー・リーディングはないのですね。

**(B先生)** そうです。今週はテストの準備を行うので、ウィークリー・リーディングはありません。

**(生徒)** テストの対策をするのですか。・・・(不明)・・・。

**(B先生)** ええ。来週は<sup>ハッピー</sup>幸せな火曜日 (試験日を指す。一筆者挿入) ですよ、皆さん。昨日、対策としてDBQ (Document-Based Question: 史料に基づく問いに関する) 論文を書きましたね。

**(生徒)** いいえ (書いていません)。

**(多数の生徒たち)** はい (書きました)。

**(生徒)** 論文を書くのはとても面白いです。本当に楽しかったです。

**(B先生)** 私は皆さんが書いた論文を読むことを楽しみにしています。もし、昨日、欠席した生徒は論文をこれから書かなければなりません。今日の授業で、皆さんに二つの課題を行ってもらいます。明日 (水曜日一筆者挿入) の授業では、短答の問題 (Short Answer) を行います。木曜日の授業では、AP試験で最も難問とされる多肢選択問題 (Multiple-Choice Questions) を実施します。今日は、大きなトピックを取り上げて、調べる学習です。第5課 (工業化とグローバルな社会: 1750年頃～1900年頃) で扱う時代から大きな概念を取り上げ、検討してみましよう。第5課は、すでに二学期初めから学習してきたところです。今回は、重要なところを復習してみましよう。しかし、君たちは、多肢選択問題のテストを受けるまでにまだ二晩も残ってます。もし、重要用語を上げるとしたら、「<sup>Industrial</sup>工業的な」という言葉に着目してください。「工業的な」という言葉は、来週の火曜日 (試験日一筆者挿入) までに君たちがノートにまとめておくべき要注意用語ですよ。質問があったら手を挙げ下さい。

**(生徒)** 今日のウォームアップは何ですか。

(B先生) おお、そうですね。授業のウォームアップを始めましょう。第5課は2学期初めから学んできましたね。課題を読んでください。政治的、経済的、社会的のどの面での変革なのか考え、ハンドアウト（第5課：1750～1900 工業化の時代）に書き込んでください。よろしいですか。カード番号の25番、A（以下、生徒名については「A」「B」「C」などの匿名で表記）を指します。隣席のBと相談してもよいです（隣同士の生徒同士はカウンターパートナーと呼ばれ、相談することが許されていた。－筆者挿入－）。政治的、経済的、あるいは社会的のどの変革なのかを考え、ハンドアウトに書き込みなさい。

・・・「ウォームアップ課題」（パワーポイントスライド）をスクリーンに映す・・・

**ウォームアップ課題**

1750年－1900年に世界で起こった政治的、経済的、社会的  
変革について考えなさい。

d

(生徒A) 経済的変革として、私は工業化をあげたいと思います。

(B先生) はい、その通りです。工業化は最も大きな変革でした。では、工業化や産業革命という用語について思いついた生徒は、他にいますか。（挙手した人に対して）今、私たちは世界が経済的に工業化したということが理解していますね。では、他の面での世界の変革について考えましょう。（カード番号）12番のBはどうですか。

(生徒B) たくさんの事件のうち、例えば、反奴隷制運動が起こりました。

・・・（2秒間の空白）・・・

(生徒B) ハイチでは、奴隷による革命が起こりました。そのことが奴隷制を終わらせたのだと思います。

(B先生) 奴隷制の廃止ですね。

(生徒B) そうです。奴隷制の廃止です。

## ハンドアウト：第5課：1750-1900 工業化の時代

### 5. 1 民主革命

	変化の例
政治的变化	
経済的变化	
社会的变化	

### 5. 2 産業革命

	変化の例
政治的变化	
経済的变化	
社会的变化	

### 5. 3 新帝国主義

	変化の例
政治的变化	
経済的变化	
社会的变化	

### 5. 4 新旧両世界が交錯する社会 “the Crossroads Societies”

	変化の例
政治的变化	
経済的变化	
社会的变化	

### 5. 5 地球規模の移民

	変化の例
政治的变化	
経済的变化	
社会的变化	



写真2 授業風景。生徒たちは二人ずつ並んでおり、エルポーパートナーと呼ばれていた。質問に対して相談することが認められていた。

(B先生) その通り。米国ではリンカーン大統領が奴隷解放宣言を出しましたね。反奴隷制運動を進めたブルジョワが勝利しました。これは社会的変革に分類されます。奴隷制廃止は、同時に経済的変革も成し遂げました。民主革命の中の最大の出来事がフランス革命でしたね。私有財産制や経済活動の自由が保証されました。社会的変革です。そのことは同時に経済的変革も引き起こしましたね。(カード番号) 3番のCは、どう思いますか。

(生徒C) 私は数多くの変革のうち、社会的変革について考えてみました。米国では、奴隷に代わって年季奉公人や工場・農場(プランテーション)労働者が出現しました。

(B先生) そうですね、私たちは奴隷制が廃止されても、労働者に対する弾圧が終わらなかったことを学びました。そして、先週、私たちは年季奉公人の類の隷属労働について話し合いましたね。発言ありがとうございます。(カード番号) 23番のDはどうですか。

(生徒D) 多くの西ヨーロッパ諸国が工業化を達成したことにより、蒸気機関車や蒸気船、

機械製の工場が作られました。そして、経済の力を背景に、政治的権力が出現しました。その結果、西ヨーロッパ諸国は世界を征服する力を得ることが可能になりました。

(B先生) そうですね。私たちは、この時代にヨーロッパの興隆を見ました。このような巨大な権力のことを何と言いましたか。E、Fはどうですか。

(生徒E) 帝国です。帝国主義という体制です。工業生産の拡大と独占資本の成立です。

(生徒F) 社会面で大きな変革がありました。人種差別の中に、社会ダーウィニズムのような科学的人種説が持ち込まれました。

(B先生) そうですね。私たちは社会ダーウィニズム、すなわち、優生学的人種理論について話し合いました。この時代の世界に起こった社会的変革の一つです。文明という名のもとに人種や民族の概念が生まれ、社会の中に白人優位の思想が持ち込まれることになりました。えーと、LとM、何か意見はありますか。

(生徒L) この時代に、私たちは政治的・・・(聞き取り不明)・・・帝国主義の兆しを見つけることができます。各国で帝国主義が始まりました。

(B先生) 誰が始めたのですか。

(生徒M) そうですね。ヨーロッパの人たちです。

(B先生) その通りです。工業化を成し遂げたのはヨーロッパの人たちでした。また、同様に、米国も工業化を成し遂げました。それらの国々は工業化以外の分野でも偉業を達成しようとしています。そうではありませんか、N、どうですか。L、どうですか。

(生徒N) えーと、政治的変革として、社会主義や共産主義、立憲政府の樹立などが国家を動かし変革させました。

(B先生) そうですね。まず第一に、立憲政府の樹立については、アメリカ独立戦争(独立革命)が該当します。社会主義や共産主義は、後の時代に政府を樹立することになりますが、社会主義、共産主義の思想はこの時代に産まれました。正解です。ほかにどうですか。

(生徒L) 帝国よりもむしろ一般の国家において新たな動きが始まりました。政治的変革でした。

(B先生) その通りです。大きな政治的変革。そのことを記述しようとするにはなかなか苦勞しますが、国家、あるいは国民国家と呼ぶべき国家が作られたことです。私たちはこの時代にこのような国家の形態を目にすることができますね。L、ありがとう。君の説明で、私がおこと(政治的変革としての国民国家の創造—筆者挿入—)を確認す

ることができました。OとP、二人はどうか。

(生徒O) ぼくは、Lが言ったことと同じ意見です。

(B先生) えーと。二人(LとO—筆者挿入—)は、国民国家について話そうとしていましたね。二人とも良い答えを出してくれました。

(生徒O) 僕は前言を変えるつもりです。人々がもっと多くの権利を手に入れました。僕が言いたいことは、この時代には土地以外のものを所有する人々がより金持ちになり、より権力をもつようになり、より安定した存在になったということです。

(B先生) その通りです。自然権の思想はこの時代に生まれました。啓蒙思想と自然権の影響ですね。よろしいですか。ウォームアップの最後の発言です。P、この時代の政治的ないしは経済的変革はなんですか。

(生徒P) 工業化です。そのことは帝国主義の出現にも影響を与えました。

(B先生) なるほど。帝国建設というニューラウンド(新時代)の到来ですね。私たちは、世界史で丸1年にわたって、帝国については話し合いましたが、しかし、工業化によって出現した新たな形態の帝国については今回が初めてです。経済的帝国と呼べるものです。皆さん、良いウォームアップでしたね。それでは、第5課の時代について振り返りましょう。ここに五つの大きなトピックがありました。私たちは、これらのトピックを一週間かけて一つずつ学んでいきました。最初に、私たちは民主主義と民主的革命を学びました。そこでは、米国人、フランス人、ハイチ人、ラテンアメリカの人々の動向について話し合いました。次に、産業革命を学びました。そこでは、経済と社会がどのように変革したかを話し合いました。その後、帝国建設と新しい形態の帝国主義について話し合いました。

## 第2フェーズ (11分30秒～33分31秒)

11分30秒経過 / 55分

(B先生) スライドを見てください。「新旧両世界が交錯する社会 (the Crossroads Societies)」とは、伝統様式と近代様式とがまじりあった複合社会のことです。皆さんには「新旧両世界が交錯する社会」について考えてもらいます。隣の仲間と一諸にこの写真を見てください。

・・・「第5課：1750-1900 工業化の時代（概要）」をスクリーンに映す・・・

### 第5課：「1750-1900 工業化の時代」（概要）

- 5. 1 民主革命
- 5. 2 産業革命
- 5. 3 新帝国主義
- 5. 4 新旧両世界が交錯する社会 “the Crossroads Societies”
- 5. 5 地球規模の移民

・・・（2秒間の空白）・・・

（B先生）私は、君やその隣の仲間と一緒にこの写真を見て、「これがどんな写真であるか？」を決めて、君たち同士の合意をはかってほしいと思います。相談する時間を30秒、とります。君たちにこの写真を調べて、これは何についてのことを考え、説明してほしいと思います。そして、次にこの課（第5課）で学んだことをこの写真と結び付けてみましょう。

・・・写真3をスクリーンに映す・・・



写真3 明治期日本の紡績工場での女工の労働風景

(B先生) <sup>エルボーパートナー</sup> 隣の仲間と一緒にこの写真を見てください。

・・・生徒が話し合う・・・

(ある学生) おお、そうだね。・・・(聞き取れず)・・・のようなものだと思うね。わかったぞ。これはたくさんの人たちが料理しているところだ。

・・・生徒が話し合う・・・

(B先生) 聞いてみましょう。君や隣の仲間はこれが何についての写真だと思いますか。  
(カード番号) 26番の生徒を指します。G、これが何の写真か思いつきましたか。

(生徒G) えーと、人々が整列しています。

(B先生) 整列している状況という指摘は正しいです。では、皆さんはこの状況からどんなことに気付きましたか。

(生徒G) 人々が働いている状況だということです。

(B先生) とても込み合っていますね。この教室よりももっと込み合っているように見えますね。あはは(笑い)。そのとおり。何か労働している状況でしたね。G、話のきっかけをつくってくれてありがとう。話し合いをやめてください。皆さんはこの写真からどんなことを説明したいですか。写真の中の労働者がどうしてすべて女性なのでしょうか。

・・・(2秒間の空白)・・・

(B先生) どうでしょうか。労働者は、すべて女性たちではありませんか。女性たちが働いています。よろしいですか。このことについて詳しい説明をしてみましょう。Hが手を上げましたね。

(生徒H) 僕は・・・(聞き取れず)・・・。

(B先生) あーはあ、何ですか。

(生徒H) 社会生活・・・(聞き取れず)・・・、社会的な変革と関係があると思います。なぜならば、たくさんの労働力を必要としており、女性は働くことを期待されていたからです。

(B先生) その通りです。私たちは女性の労働について取り上げましょう。よろしいですね。この写真はどの国の労働環境についてのものだと思いますか。

(生徒I) うーん、僕はおそらく日本の工場だと思います。

(B先生) 君は、なぜ日本だと思うのですか。では、(この写真が)日本であるという証拠を探しましょう。

**(生徒 I)** 彼女たちが着ているものは日本の着物だからです。……。間違っているかもしれないませんが。

**(B先生)** 君の意見は正しいです。この写真は 1890 年代の日本で撮影されたものです。女性が働いている様子が写っています。(カード番号) 35 番の Q、君は他に何か付け加えることがありますか。

**(生徒 Q)** 僕は中国の状況だと思います。なぜならば、中国は後に大いに工業化したからです。

**(B先生)** 中国が後に大いに工業化したから、この写真が中国であったというのですか。この絵は日本です。間違いはありません。

**(生徒 Q)** いいえ、中国です。

**(B先生)** 写真に写っている女性の服装から、日本であると言えます。しかし、中国も関係しています。なぜならば、彼女らが労働したり生産したりしていることが、中国の日本に対する影響力を示しているからです。彼女たちがここで生産していたもの、そして、女工たちが伝統的に行っていたと思われる仕事を推測してみてください。(カード番号) 32 番の J、君はどう思いますか。

**(生徒 J)** 多分、絹製糸です。

**(B先生)** その通りです。絹製糸(生糸)を生産している女工たちです。私は、君たちがこの写真を以前に学習した別のことと結びつけて考えて欲しいと思います。例えば、女性たちが工場で働いている様子が描かれているので、産業革命に結び付けることができるのか。多分、この写真は産業革命や帝国主義、あるいは日本を「新旧両世界が交錯する社会と結びつけて考えることができますね。皆さん、第 5 課で学んだ出来事と結びつけて考えてください。

・・・生徒が話し合う・・・

**(生徒たち)** おー。この時期についてですか。

**(B先生)** はい、この時期です。いいですか、テストのために勉強してください。

・・・生徒が話し合う・・・

**(生徒たち)** 君はどう考える。うーん。

・・・生徒が話し合う・・・

**(生徒たち)** いいね。・・・

・・・生徒が話し合う・・・

(B先生) よいですね。誰か（日本の女工たちの写真と）適切に結びつけられましたか。  
R、どうですか。

(生徒R) 私は適切な結びつきが浮かびません。

(B先生) 労働者が、どうしてすべて女性だけなのでしょう。説明できる人はいますか。

(生徒C) 私は、男性支配の社会の影響があると思います。なぜならば、女性の労働賃金は男性と比べて安いからです。女性に働かせれば、生産費を安く抑えることができます。

(B先生) アジアでは、絹製糸（生糸）の生産は女性たちの仕事としてみなされており、あ場だのように、男性よりも低賃金で働かせることができました。この工様子は男性優位という伝統社会の継続を見ることができます。

・・・(3秒間の空白)・・・

(B先生) 私たちが見てきたすべての社会を通じて、男性支配の存在について語っています。ここでは、私たちは絹紡績の女工を見えています。絹とは中国文化に起源をもつものであり、絹の生産ということは女性たちの仕事としてみなされており、この工場での様子は男性支配の継続というものを見ることができます。そして、多分、女性たちには、男性と同額の賃金を支払われていませんでした。そして、もう一步踏み込むならば、おそらく、君たちが考えているのは、誰が、この工場とそこでの絹の生産を所有していたかということです。誰ですか。おそらく男性ですね。私たちは男性支配と結びことを見ることができます。ただし、このことはこの課からだけでなく、私たちが語ってきたAP世界史という教科全体から言えます。K、どうですか。

(生徒K) 僕は社会的流動性と女性自立の好機が到来したことを示していると思います。

(B先生) たしかに女性が労働者として社会進出することは男性支配への挑戦であったと思います。興味深いことは、この写真がある意味で非常に近代的に見えるということです。この写真の労働の様子は西洋の工場と同じように見えます。同時に、君たちはこの写真の中に伝統的要素を見つけることができます。女性の服装や髪形です。この写真から、君たちは伝統社会と近代社会の融合を発見できます。これまで議論したいろいろな事柄を結びつけて考えることは重要な思考方法ですね。

(生徒K) 一人の女性が立って他の多くの女性たちは座って働いているのですか。

(B先生) なるほど、君は工場の実態に気づいたのです。資本主義社会では、生産手段を所有する産業資本家と（生産を行った）労働者との間を取り持つ仕事する人が必要と

なりました。すなわち、両者の中間に立つ人が必要となりました。そうではありませんか。産業革命は、資本家と労働者のほかにどんな人々をつくったのでしょうか。

**(生徒K)** 労働者を監督する者のことですか。

**(B先生)** その通り。女工の監督者です。彼女は資本家ではありません。労働者を監督する人たちです。写真の女性は（職場での）シフトリーダーやある種の管理者的な人物ですね。K、何ですか。

**(生徒K)** 監督者とは、女工たちの勤務時間を守らせるような人のことですか。

**(B先生)** その通り。もし君が（この写真中の女工を）積極性を欠いた仕事ぶりとみなすならば、正しいかもしれませんね。つまり、もし君が彼女（監督者）を女工たちを搾取していたと見るならば、女工たちを劣悪な条件の契約で署名させた資本家の代理人を想起させますね。もし君が監督者をそのような類の存在と見なしていたならば、この写真の様子（一人の監督者が多くの女工を監督していた様子）は不快なことと思いますね。

・・・(2秒間の空白)・・・

**(B先生)** 工業化の進展は、資本家と労働者（ここでは女工）の関係を取り持つ中間管理者を生み出しました。19世紀後半には、日本のような非欧米地域にも近代的工場が作られ、女性が労働者となりました。また、労働者だけではなく、労働者を監督する人たちも生まれました。工業化は欧米社会だけでなく、非欧米社会も社会の在り方を大きく変えていくことになりました。写真の読み解きは、これで終了します

・・・(3秒間の空白)・・・

### 第3フェーズ (30分31秒～55分)

#### 30分31秒経過／55分

**(B先生)** 次に、二次史料の活用法を実践しましょう。それでは、これから、テストの練習をしましょう。AP試験と同じ形式の問題です。私は、皆さんに、私が以前に読んだ本から英国の歴史家、ホブズボームの書いた『革命の時代』の抜粋を用意しました。ホブズボームはその著作の中で、1789年から1848年までの世界を「二重革命」と規定しました。皆さんが行わなければならないことは歴史家の書かれたものを読解できるようにしておくことであり、そして、歴史家の主張が何であったのかを理解できるようにしておくことです。つまり、歴史家が皆さんを納得させようとした議論とは何であつ

たのかを理解できるようにしておくことです。しかし、皆さんはそのことを歴史家の言葉を引用することに頼ることなく、皆さん自身の言葉で表現できなければなりませんね。それこそは本当の<sup>trick</sup>妙技です。そして、皆さんは歴史家の主張や議論を明らかにすることができた後で、皆さんは、歴史家が言及していなかったが、皆さんが歴史家の主張や議論を支援するために用いることができる外側の証拠でもって、歴史家の主張や議論を補強できることが大切です。それで、私たちは、今日、そのことを実践するつもりです。それで、私は、皆さんに、私が読んだ本から、英国の歴史家エリック・ホブズボームの書いた『革命の時代（日本での翻訳名は『市民革命と産業革命～二重革命の時代～』）』の抜粋を用意しました。この抜粋はAP試験に関しての大変すばらしい紹介になるでしょう。では、「二重革命」という歴史理論を用いて、第5課の内容を分析してみましよう。歴史家の主張や議論を活用する場合には、スライドで示した二点に留意することが大切です。

・・・「二次史料を用いての実践」で留意すべきことをスクリーンに映す・・・

「二次史料を用いての実践」で留意すべきこと

1. 歴史家の主張を明らかにすること
2. 歴史家の主張を歴史事例と関連付けること

(B先生) 二重革命という言葉は第5課の内容を理解する上でよい概念です。私は、この紹介文（「資料 ホブズボーム『革命の時代』からの抜粋）を三つの部分に分けてみました。この授業では、そのうちの第一と第三の部分を検討してみましよう。まず、第一の部分を一緒に読み、「歴史家の主張を明らかにすること」と「歴史家の主張を歴史事例と関連付けること」の二つの課題を行いましよう。終わったら、クラスの人たちと答えを共有してみましよう。

(B先生) まず最初に紹介部分を見ましよう。（カード番号）8番のT、二重革命とされている部分を、私たちのために読んでくれませんか。

## 資料 ホブズボーム『革命の時代』からの抜粋

二重革命(the Dual Revolution)はエリック・ホブズボームによって最初に造られ用語であった。その用語は1789年から1848年までの期間のことを明確に言及している。そして、その間にはフランス革命の政治的イデオロギー的変革が産業革命の技術的経済的変革と融合し、その変革を強化した。啓蒙主義哲学の思想によって覚醒されたフランス革命が民主主義、ナショナリズム、自由主義の思想を拡散させた。

**第一の課題：**1789年から1848年までの期間に勃発した二重革命は、人類が農業と冶金、文字都市と国家を発明して以来、長い時間を経て人類社会の歴史に起こった最も偉大な変革を形づくっている。この革命は世界中を変革したし、また変革し続けてきた。

**第二の課題：**1789年から1848年までの間の二重革命は、厳密な意味での“産業(工業)”の利ではなくて産業資本家の勝利にすぎなかったし、また一般には、自由と平等の勝利ではなく英国とフランスのようなライバル国家の勝利であった。1789年から1848年までの間の変革は、本質的にはこれらの二国家に起こった双子の大変動(the Twin Upheaval)であり、その後、全世界中へと広まっていった。

**第三の課題：**必然的のこととして、二重革命が英国やフランスから国外に広まると、二重革命はまず最初にヨーロッパへの拡大という形態をとり、そして、次に非ヨーロッパ世界を征服した。実際、世界史にとっての最も驚くべき影響は、わずかの西洋諸国による(とりわけ英国による)地球規模の支配が確立したことであった。貿易商人、蒸気機関、西洋製の艦船と武器の出現以前に—そして、その思想の出現以前に世界に君臨していた旧時代の文明と帝国は西洋諸国に屈服し崩壊していった。インドは英国人総督によって支配される従属的な地域となったし、イスラーム諸国家は危機に直面し混乱に陥ったし、アフリカでは(西洋諸国による)直接征服が始まった。偉大な中華帝国でさえも、1839年から1842年までの間に、西洋諸国の暴力的圧迫によって辺境を開国させられた。1848年までには、西洋諸国や実業家が自分たちの独占的優位を見出すために行った征服を免れた地域はどこにも存在しなかった。また同時に、西洋の資本家が着手していた動きを妨げる時間的余裕もどこにも存在しなかった。

**(生徒 T)** 二重革命はエリック・ホブズボームによって最初に造られ用語であった。その用語は 1789 年から 1848 年までの期間のことを明確に言及している。・・・(中略)・・・啓蒙主義哲学の思想によって覚醒されたフランス革命が民主主義、ナショナリズム、自由主義の思想を拡散させた。

**(B先生)** T、ありがとう。では、話し合ってみてください。

・・・多数の生徒たちが話している・・・

**(生徒)** この部分、この部分。

・・・多数の生徒たちが話している・・・

**(B先生)** では、第一の課題について何人かの生徒に意見を聞いてみましょう。

**(生徒)** 二重革命がすべての歴史において最も偉大な変革を形づくっています。二重革命は工業化の進展に大きな影響を与えたと思います。

**(B先生)** その通りです。ちょうどどのように変革したのかを証明するような例として、どんなことがあげられますか。

**(生徒 N)** ホブズボームの主張では、全世界で産業革命と様々な民主革命や戦争が起こっていたとっています。そして、製品の大量生産の影響が全世界に波及したとっています。

**(B先生)** その通りです。時間がないので、第二の課題は省略してください。第三の課題に入ってみましょう。資料を各自で読みましょう。ホブズボームの主張が何であったかについて考えて下さい。これは皆さんが行う予定の AP テストと同様のものです。皆さんが一人ひとりで読んだ後に、カウンターパートナー（隣の相談相手）とそのことについて相談してみてください。では、聞いてみます。

・・・多数の生徒たちが話している・・・

**(B先生)** 読み終えた後で、隣の仲間と自由に相談してください。そして、どのように考えたかについて述べてください。

**(生徒 L)** えーと。ホブズボームは、二重革命がヨーロッパの勢力を増大させることになったと主張しています。テキストでは、英国とインドの関係に触れています。英国と中国についても同様です。

**(B先生)** インドはイギリスの植民地となりますが、中国は帝国が残りました。経済的には、インドも中国も英国に支配されています。

・・・(3秒間の空白)・・・

(B先生) では、最後のセクションである「交錯社会 (the Crossroad Societies)」について取り上げます。オスマン帝国、ロシア、中国、そして日本のような場所についてはどうですか。今、私たちは、旧世界に属するこれらの国々について、そして次に、新しい西洋の様式について話をしています。英国がインドや中国を支配できたのはどうしてですか。

(生徒L) 英国に武器をつくるための機械があったからです。

(B先生) その通り。たとえば、マクシム銃や機関銃のような武器類を作るための機械があったからです。では、ヨーロッパ勢力の侵略はアジアやラテンアメリカ、アフリカにどんな変化を促しましたか。

(生徒U) はい。うーん、いくつかのアジアの国が、ヨーロッパから規則を押し付けられたり武力をもって貿易を強いられました。ちょうど、英国と・・・のアヘン戦争のようにです。

(B先生) 中国が英国から貿易することを強制されたのを見てきましたね。外圧がしばしば人々に貿易を強制したように、米国の軍艦が日本にやって来て、日本が米国と貿易することを強制されたのを見てきましたね。

(生徒U) 中国では戦争になりました。

(B先生) 中国では、アヘン戦争が原因で、英国から不平等な貿易をすることが強制されることになりました。西洋からの外圧がしばしば非欧米の国々に貿易を強制したように米国の軍艦が日本にやって来て、米国と貿易することを強制されたのを見てきました。その後、どんなことが起こりましたか。

(生徒K) イスラーム国家では、危機に対する改革としてはタンジマート改革があります。えーと、中国でも、政治的運動が起こりました。

(B先生) その通りです。オスマン帝国でのタンジマート改革は近代化を目指したものであり、中国の清朝でも、自らを強めるための運動がありました。

(生徒C) 僕は、日本とロシアの政府による改革について話したいです。工業化は実業家によって始められたものではありませんでした。それは政府の手によって事業が興されたのであり、英国や米国の場合と異なっていました。

(B先生) 良い点に気づきましたね、オスマン帝国や中国と同様、日本とロシアも自分たちの政府を改革しようとしています。でも、この改革を成功させたのは日本だけでした。どうしてだと思いますか。

(生徒H) ロシアで権力を握っていたツァーリ（皇帝）は西ヨーロッパの影響を受けましたが、帝国の組織は旧体制のままでした。指導者たちは社会を変えることには消極的でした。

(生徒K) それは世俗化（secularization）ができなかったということですか。世俗化の意味がよくわかりません。

(B先生) よい質問ですね。この用語は、新旧両世界が交錯する社会を理解する上での大切な概念です。世俗化は宗教や伝統を社会から分離するということを意味しています。すなわち、改革によって宗教や伝統に影響されない新しい社会に変えていこうとするものです。この面での改革に成功したのが、日本でした。・・・このあたりで、本日の授業を終了します。

・・・生徒は教室から退出する。・・・